

おはなしだより 9月

<年長>

おつきさんのぼうし

文 : 高木 さんご
絵 : 黒井 健
出版社 : 講談社

ある夜、おつきさんが、街で人気の帽子屋さんに、自分の帽子を作ってほしいとたのみにきました。

腕のよいおじいさんも、おつきさんにぴったりの大きな帽子は、作ったことがありません。でも、暗い夜もいつも明るくてらしてくれるおつきさんのために、とびきりの帽子を作ってあげたいと思いました。

さあ、おつきさんがおじいさんに頼んだ帽子とは……?



どうぶつしんちょうそくてい

文 : 聞かせ屋。けいたろう
絵 : 高島 純
出版社 : アリス館

今日は、動物園の身長測定の日。背の高さを測ります。ゴリラの先生が測ってくれるようです。動物たちはみんな順番を待っているのです。

ウサギは耳をピンとのばして身長を高くみせようとしています。でも、あら残念。頭を測るので、40cmです。さてさて、おつぎはだれかしら。自慢のジャンプばかりしているカンガルーに測定器を楽にはみだしてしまうキリン。ワニたちは積み重なって大きくなろうとし

ているしコウモリは……。コウモリはどうやって測るのでしょうか。大丈夫ですかね？みんなちゃんと測ることができるのかしら？

<年中>

お月さまってどんなあじ？

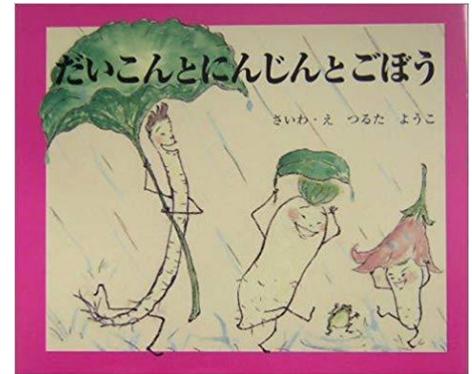
文・絵 : マイケル・グレイニエツ
訳 : いずみ ちほこ
出版社 : らんか社

「お月さまってどんなあじなんだろう」——動物たちはお月さまを見るたびに、そんな素朴な疑問を抱いていました。

ある日、小さなカメが、高い山の上に登ってお月さまをかじってみようと決心します。山のとっぺんに着いたカメは、ここではまだお月さまに届かないことに気づき、ゾウを呼びました。ゾウがカメの背

中に乗り長い鼻を伸ばすと、お月さまは「これは新しいゲームだな」と思い、ひょいっと上へ逃げました。そこで、ゾウはキリンを呼びました。キリンがゾウの背中に乗り長い首を伸ばすと、お月さまはひょいっとまた上へ逃げてしまいます。次にシマウマを呼び、キリンの背中に乗って背伸びをしてもらったけれど同じこと。ライオンを呼び、キツネを呼び、サルを呼び、次々に背中に乗って背伸びして、動物たちで作る塔はどんどん高くなっていくけれど、あとひといきというところでお月さまは上へ逃げてしまうのです。

さて、サルの手がもう少しでお月さまに届きそうになったとき、サルはネズミを呼びました……。



だいこんとにんじんとごぼう

作・絵： つるた ようこ
出版社： アスラン書房

昔、大根とにんじんとごぼうの色は、白かったんですと。あるときから、にんじんは赤くごぼうは黒くなったんですと。なんともおかしくておつかれさまのお話。軽妙なタッチで描かれた野菜たちの表情が秀逸。

<年少>

くまんとつき

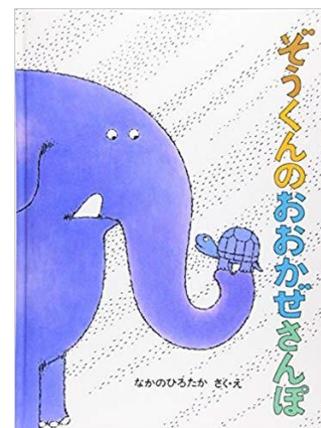
作： 中川 ひろたか
絵： 松成 真理子
出版社： 自由国民社

くまくんは おつきさまが だいすき。

くまくんが はしると おつきさまも はしります。

くまくんが つかれて やすむとおつきさまも はしるのをやめて、そこで まっていてくれます。

おかのうえで くまくんは おつきさまと おはなしをしました。



ぞうくんのおおかせさんぽ

作・絵： なかの ひろたか

出版社： 福音館書店

ある大風の日、ごきげんなぞうくんは散歩にでかけます。すると大風に吹かれて、仲良しの、かばくん、わにくん、かめくんがごろんごろんと転がってきます。転がってきたみんなは、大風の中、力持ちのぞうくに後ろから支えられ、一緒に散歩にでかけることに……。シリーズ3作品目となる本作。簡潔な文章とシンプルな絵で、子どもたちの想像力をかきたてます。常に友だちを気にかけているぞうくんたちのあたたかなやりとりも魅力です。